

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の原子炉施設（STACY（定常臨界実験装置）施設）の変更に係る設計及び工事の計画の認可申請に係るヒアリング（10）
2. 日時：令和5年3月31日（金）15時30分～16時30分
3. 場所：原子力規制庁10階南会議室（TV会議により実施）
4. 出席者：  
原子力規制庁  
原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門  
金子安全規制調整官、島村主任安全審査官、澁谷安全審査専門職、井上安全審査専門職、三好技術参与  
  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
原子力科学研究所 臨界ホット試験技術部  
次長 他3名  
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部  
施設保安管理課 技術副主幹 他1名
5. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
6. 配布資料  
資料1： STACY施設設工認（実験用装荷物の製作及びデブリ模擬炉心の新設） 審査説明資料の記載充実化について（編集方針）  
（ST-10-1）

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい、ではこれから都合 10 回目の精神のヒアリングをして回収させていただきます。
0:00:08	で、3月、
0:00:12	失礼しました、3、3月 33、2024 ですね、24 日に、
0:00:20	このステージの 2 回目に当たって審査会合を行いまして、そのあとラップアップベンダーを開催させていただきました。1 回目の残っている宿題の案件と合わせて、コメントを確認させていただいて、
0:00:34	今、そのコメントに改正は回答を準備していただいているかと思いません。
0:00:40	例えば 5 月の中旬ないし下旬に、次の審査会合を開催するとして、その倫理状況としてはどんな感じでしょうか。
0:00:52	お願いします。はい。原子力機構のソノでございます。まずですね、今日の審査会合の後、すぐ 1 週間にですね、こういった会議、面談を
0:01:05	開催調整板、していただきまして、ありがとうございます。
0:01:10	こういう、
0:01:12	健康配慮、
0:01:13	にですね、私ども事業者もこたえていくためにですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:19	審査のご判断に必要な説明を丁寧にして参りたいと思っております。
0:01:28	ということで、
0:01:31	お忙しい中、恐縮ですけれども、
0:01:34	引き続き、ご審査いただければと思っております。
0:01:38	5月中旬ということであればですね、それに向けて、もう最大限間に合うようにですね、資料のほうを準備して参りますので、
0:01:50	説明が足りない点とかございましたら、ご指導の方、よろしくお願いたします。
0:01:57	はい。政党シブヤですよろしくお願いたします。
0:02:00	で、本日の資料を拝見をさせていただいたんですけれども、
0:02:07	審査会合でも、と申しますけれども、臨界実験装置の特性を踏まえて、
0:02:15	保安規定による箇所が多いというのはそれは当然、その通りだと思ひまして、構成す、核的制限値を満足する見込みのないような無線は決して、
0:02:28	校正しないっていうのはプラスで当然、運用されると思うんですけども、それは当然のこととして、
0:02:37	設工認において、実際に構成される。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:42	炉心が核的制限値を満足していくかっていうのをどうのことを思って示すかっていうことですがけれども、
0:02:50	確かにあまりお話がありました通り、臨界実験装置は悪意を持って、非常に危険なものを組もうと思えば、
0:03:00	いくらでも含めてしまいますので、
0:03:04	んな、なんて言いますか。へえ。解析の結果、制限値を満足しないような方針が出てくるのは
0:03:13	それは当然、そういうことだというふうに思いますけども、
0:03:18	かといって、
0:03:23	例えば水位で見ますと今 90 センチとか 110 センチとか、中間的なところで示されていますけれども、
0:03:34	やはり 20 日な、
0:03:38	やっぱり停止盤停止余裕とかそういう反応度係数とか、そういうところでいうと、やはり 40 センチで、なるべく燃料棒が多いところが、
0:03:52	制度しにくいというところだと思いますので、
0:03:57	なんつうかですね、例えば、水が 40 センチで、燃料後、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:02	とりあえず検査の話もありますので、原因を中心に考えていいと思うんですけども、400本ということいかないといいと思うんですけども、
0:04:10	例えば400本、現状で、水40、40センチとすると、
0:04:16	例えばもう装荷物はそんなには多くは、
0:04:20	入れられない状況じゃないかと思うんですけども、
0:04:23	うんとりあえず、燃料棒は、持ってるものを全部入れるとか、ほぼ400を入れることを考えて、SE部もなるべく低いところを考えると、そうするとそんなに、装荷物は入らないけどもとりあえず入れられるところまで、
0:04:38	というのが一つの考え方かと思います。
0:04:42	逆に、鉄棒は最大70本種作る予定で、国等もやはり70本定量を合わせて140分で140本入れる可能性もあるというふうに認識しておりますけども、
0:04:56	そうするとかなり水位がないと、今度はたくさん総括するってのは難しいと思いますので、その場合は140本で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:06	なるべく装荷物を、130%すぐにひよっとしたら入らないのかもしれませんが、それはどこまでなるのかは、やってみてできたところまでいくと思うんですけども、それも一つの、
0:05:17	極端な例かなと思いますけども、例えばその二つ辺りを中心にして、ちょっと解析をしていただいて、
0:05:26	さっきの精度低い話だと、これだと例えば委員会蒲生さん、もう30センチ委員会になっちゃいますとかっていう場合はそれは当然調整できない。その場合にはちゃんと理由をつけていただいて、400本はちょっと、
0:05:40	40センチ以下になっちゃうんで、それだとやっぱり350分になりますとか、この逆に言ったんすか厳しい側から攻めていっていただいて、こういうこのパラメータ設定になるっていうことが理解できれば、我々としてはそれが代表に、
0:05:56	よろしいんだというふうに、この場合のデブリ、もう農業炉心を、
0:06:02	解析、解析して、核的制限値を満足するための見通しを得るための炉心だというふうに認めることができるかと思いますので、
0:06:12	ちょっとそういうふうに解析を進めていただくということは可能でしょうか。はい。現状機構の宗です。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:22	炉心は、いかようにでも組めますので、その方向で、はい。二つの方向で検討して、それで、代表炉心というふうにお示しする方向で考えます。はい。
0:06:35	その他の9番ですか、規制等の他の方がいいかでしょうか。三好さんいかがでしょうか。今、今の、
0:06:47	そういう体制を計算すると、またよろしく。
0:06:53	違う。
0:06:54	そういう意味で、
0:06:59	業種の選定も、基準、基本的に安全盤、
0:07:06	やっぱりそれは取りにくいと。
0:07:13	考えてる実験は、
0:07:18	明確に伴ってあるんですね、厳しいがあります。
0:07:28	特にそういうことは必要ないんじゃない。
0:07:34	あそこは
0:07:36	その必要をもって、はっきりしない場合は解析して、比べ、
0:07:41	違う。
0:07:45	これまで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:47	解析、あれですよ。
0:07:51	水位は決めてるけども、
0:07:54	メーター的にいろいろ振っちゃう傾向は見える。
0:08:02	6日。
0:08:04	そういう意味の間詰めはもうず、そこでの開始でクリア。これは、
0:08:15	その範囲についての新旧組めるわけです。
0:08:19	そういう関係。
0:08:22	横断的に解析するんじゃなくて、
0:08:26	パラメータとしてはいろいろありますからね。
0:08:32	統合するだとか、
0:08:34	そこはもう部分的に絞ってもらって、
0:08:38	今考えてる意見はない。
0:08:40	対して、比較的制限値の半分半分からってところが厳しいんだけど も、
0:08:47	こういう安全にしておけば、
0:08:52	守れます。そういうところをちょっと明確に、
0:08:55	示していただければ、その辺の議論に集中して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:09:02	進められるんじゃないかとかそういうところだよ。
0:09:06	はい。
0:09:11	機構のソノです。はい。
0:09:14	ねらいも、
0:09:15	含めてですね、理解いたしました。代表炉心が決まればですね、やはりこの後の話もスムーズに進むかと思しますので、
0:09:25	あまり細かいところではなくてやはりそこに集中して、説明するようにいたします。ありがとうございます。
0:09:33	あとは、規制庁金戸です。ちょっと今の考え方がある程度、ご納得いただいてるということであれば、もう今の段階でどういう解析をすればいいかっていうのがもう頭に出てきてるんじゃないかと思うんですけど。
0:09:46	制度は、整理していただいてあげていただくと、この段階でどういう解析をするということで代表炉心を絞れとかってのは、何かもう、お考えになります。はい。すぐ、
0:09:58	現状機構のソノです。すぐ浮かびます。はい。
0:10:02	まず、臨界水位 40 センチといいますのは、やはり水が少ないものですから、その分、たくさん燃料が必要になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:14	当然、基本炉心の場合で、40センチで臨界になることは把握してございますので、そこに入れられるだけ入れると、
0:10:25	これ鉄とコンクリートの配分がございますけれども、
0:10:29	鉄の方が厳しいというのは、事前の解析でもお示ししました通り、
0:10:36	臨界水位が少ないところであれば、
0:10:40	コンクリートよりも鉄の方が中性子吸収効果が高いものですから、
0:10:46	鉄を最大限入れると。うん。その場合は、コンクリートをですね。うん。入れて400本で臨界にできるかできないか、そこはちょっとわからないところがございますし、
0:10:58	あとそういう炉心を組んだ時に、原子炉停止余裕が制限値を超えてしまえばこれは当然、あの人組まないことになりますので、そういった事前の解析を経てですね、
0:11:10	入れられるところまで入れてやるという、そういう解析が思い浮かびます。しかしですね、一つありまして、
0:11:20	あくまで解析でございますので、その炉心を組んで、臨界にすることはできます。うん。
0:11:28	臨界にした後では原子炉停止余裕を実際に継続したときに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:34	0.995 とか 0.985 という制限値を、
0:11:39	増えてしまう可能性も否定できないというのが心配です。はい。
0:11:44	ですので、そ、そこをですね、どのように調整するかというのは私たちが事前に把握できるのは、臨界になるかならないか。
0:11:56	これ臨界近接という操作で、臨界になるかでいくならわかりますけれども、
0:12:02	その炉心で安全盤がちゃんと施工下でしかもそれがですね、
0:12:08	例えばその入れるまで、
0:12:10	入れて、0.995 の制限値に対して、0.99 幾つとかっていうそういう際どいあたりだった場合に、やはりちょっと心配でそういう炉心はちょっと組めないと思いますので、
0:12:22	やはり誤差とか、うん。或いは、多少の裕度を見て、
0:12:28	少し余裕を持たせていただきたいというふうに考えております。はい。  そこは見せ方の問題だと思いますし、実際に炉心を組む際には保安規定側でね、炉心計算書ですとかああいうのがあるので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:41	1個ふやしながらやっていくんだと思いますので、設工認の段階はあくまでも見通しなので、ある程度このアバウトになるのはいたし方ないと、そこは大丈夫です。
0:12:51	あともう一つ、現状機構のソノですけれども、あともう一つ、代表炉心として、事前に解析した場合のモデルが組めます。
0:13:02	審査の皆様には関係ないんですけども、これを検査班に説明したときに、
0:13:09	その設工認で示した代表炉心が受検路線であると。
0:13:14	このときに、実際に350本で臨界になるというふうに、
0:13:20	思ったものが350本でやっぱ足りなくて、
0:13:23	355本とか6本ってなった場合にこれ代表炉心と違うというふうに言われるのもちょっと心配してございまして、多少ですね、
0:13:35	代表炉心としてピンポイントの値を示しますけれども、受検炉心については、そういった調整範囲、こういったものも
0:13:45	設工認段階の代表炉心の中にですね、一言申し添えておきたいというふうに考えております。はい、わかりました。今の試験のカネコです。実際の受検炉心、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:58	この考え方について検査部門の考え方もありますので、実際どういった炉心が受検炉心できてくるのかっていうの方の考え方を確認しようと思っております。それにあたってはある程度我々が考えてる代表炉心ってこういうものなんですよっていう、
0:14:15	具体例を示してあげないと彼らも判断できないので、まずは、今日申し上げたですね代表方針の考え方に基づいて、ンベース代表炉心とされるものはこんなもんですっていう整理をいたして、それをもって、
0:14:29	検査部門と調整をしてっていうふうに、それ多分実際書きぶりを、その幅を持たせなきゃいけないのか、ピンポイントも十分なのかってそれは、
0:14:40	これ限りの話にも、
0:14:43	ありますし、彼らの考え方もあるんで、ちょっと次のステップにしませんか。いただいて、十分にされてることは理解しておりますので、
0:14:52	減少してます。はい。承知しました。はい。
0:14:58	元助教の宗です。先ほど渋谷さんの方から、代表炉心の二つのモデルのご提案いただいたので、
0:15:08	一番最初に話したのは、その水 40 センチのところでした。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:13	で、もう一つの炉心というのが、構造材模擬体をですね、140本、
0:15:21	見れると。
0:15:22	で、逆にその水位を調整するというお話があったかと思います。こちらの方については、もう、140本入れるということであれば、これはもう、もう戻るか、
0:15:37	決まっていますので、
0:15:39	その中で臨界になるかならないかだけ、これを事前解析することになります。
0:15:45	140センチを超えないと臨界にならないということであれば、本数を少なくする、最大限その70個作ったら70本っていうわけでもなくてですねやはりそこは私たち実験目的に応じて、50分までとか、
0:16:02	そういったこともございますので、
0:16:07	入れられるだけといいますか、例えば、40本40本とか、
0:16:12	そういった条件でも、傾向としては、これ以上ふやすと厳しくなるってのはわかっている、おりますので、先ほどの制度の話もありますので、例えば40本40本で評価したところこうですと。
0:16:28	十分な実験上の余裕も見て、これを代表炉心と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:33	して、説明したいと、というようなことでご提示する。
0:16:37	ことも考えました。技術局です。私どももすでにちょっと解析進めておりまして、前回の審査会合でもある程度厳しいところをいくつか取るようにとコメントいただきましたので、ちょっと私ども会議詰めておりますので、70本近く68本68本でやってみて臨界になると。ただ
0:16:56	まさに400本ではもう、なかなか工事計画の難しいただ400本でそういうこともできるんですが、ぎりぎりできるかなという感触はしております。ただ先ほど相馬申しましたように、
0:17:09	私ども400本ぎりぎりでやって多少解析のにバイアスがあって、405分だけは実際臨界になりませんでしたと言ったらそれはちょっと恥ずかしいことですね
0:17:19	あくまで解析ですということはございますけれども、そういう、様々なパラメータを振った方針をお示しできると思っております。
0:17:27	原子力機構のソノです。はい。今の伊田の話ですね、900本までというのがもともとの許可の範囲でしたので、900本の範囲で解析した結果がありまして、
0:17:40	それですと、140本入れる、入れられる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:46	見込みであると、ということなのですが400分だとですね、やはり今ぎりぎり行けるか行けないかというところもございますので、計算上はいけますねいや見せるんですが、はい。
0:17:58	なので、その40センチの炉心か、或いは140本入れた炉心か、いずれについてもですねやはりその実験誘導を見越して、ここまでだったらいけそうだというようなところで、
0:18:13	その調整範囲も含めて、
0:18:18	説明するようにいたします。
0:18:20	400本だと水は、何か40センチぐらい行けそう。そうですね。そうですね。水位が下がると、横幅をふやすだから、本数が増えるということになりますので、48、40センチがちょっと厳しいかもしれません。
0:18:38	8まで解析終わったわけではないので、大体イメージ440センチですと、
0:18:45	燃料400本で臨界をするんだよね。そうですね。その状態で、構造体は何回ぐらい。
0:18:53	今、今の今最大68+6人月68コンクリート68に入れます。
0:19:01	必ず今ちょっと一律やってる110センチで112件ほど43年、はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:19:12	下げていくと多分もっとふやさなきゃいけないんですね。うん。原子力のソノですやはり、そこはちょっとすいません、まだ解析途中のところもでございますので、
0:19:23	40センチの時に、臨界にして、そこに、
0:19:29	構造材模擬体を入れられるだけ入れるというようなパターンが一つ目ですね。はい。それはあれですか、別とコンクリートをミックスしたパターンと鉄項目にそれぞれくせとかそういうような感じで
0:19:45	作るんですよね、まずそうですねその方が厳しくなるということで、熱を入れても施設が70本入れられましたら、さらにコンクリートスマット老人が大きくなりますので、そういう考えもあろうかなと思うんです。
0:19:58	原子力もそうですが、そういった組み合わせも含めて本当自由に設定できるものですから、1例を示すということであれば例えばですけども、テストコンクリートを
0:20:09	同じ数だけして、
0:20:11	その最大をする、私どもが説明したII部IVっていうのを覚えてらっしゃいます4本のうち2本だけ、その2本を1本ずつテストコンクリートにするとか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:24	或いは最初鉄だけどんどんふやして行って、入るんだったら、コンクリートを、その周りにですね、いろんなバリエーションがありますけれども、
0:20:34	それをまたですね、網羅的にやるとも外れちゃいますので、
0:20:41	考え方、そうすると考え方としては、鉄の方が吸収があって安全盤にもよくないし、燃料をふやす効果もあるんで、鉄 70 分超えたら、もうコンクリートを代表してるということで、鉄をふやしていく、最大 140。
0:20:58	違うかなと思います。そのコンクリートを入れるところだけでも、鉄を入れといた方が厳しくなるだろうということで、熱 140 分入れたら多分国立堀井等と、70 コンクリート 70 分てつ 70 分というのは包含されるのではないかと思うんです。
0:21:17	そうですけど、その辺は、個人的にはね。
0:21:21	挨拶文をつけたら、やっぱりなる方、難しいところもあるので、どちらが厳しいかという、それはやっぱり少し評価で示してもらおう。
0:21:39	全部導入設置のフェーズ 1 っていうのは、基本的には、
0:21:55	そう。
0:21:57	板井の入れ方によっては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:00	フェイス飯塚安井 240、降水、
0:22:07	それはあまりこう変則的なことが起きなくて、下水で、
0:22:13	それはある程度の傾向として示してもら方がいいと思います。そうい う、非常にこうだったわけです。
0:22:29	16日だったら、
0:22:31	現場の配信、
0:22:35	これは本当に広い方がね、1週間、
0:22:39	6日。
0:22:41	言われたと。それはね、そういうところについて、
0:22:45	改善によって、
0:22:50	こういうケースがあるから、
0:22:54	昔1回ですけども、
0:22:56	説明をしていただき、わかりました。うん。はい。今おっしゃられたよ うな解析を示しできるとちょっと期待したほどがと変わるんじゃない かと思えば、
0:23:10	全員が必ず多少上がっていくグラフはもう我々見ておりますね。はい。 そういう傾向は、おっしゃる通り安全バンドル位置関係がありますん

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	で、必ずしも 100% そうなるかってのがあれなんですけれども、傾向としては、確かにございます。
0:23:25	以上です。はい。ありがとうございます。原子力機構の宗です。はい、承知しました。一つ、さっき伊田が申し上げた、鉄を代表して、140 本という話。
0:23:39	ちょっと次、今後の検査の話もあるんですけども、
0:23:45	代表炉心としてそれをお示ししたときに、鉄でこうだということであれば、
0:23:52	コンクリート、
0:23:54	普通の場合だと、麻生実際、実は 140 分ないので、
0:24:02	現実的に作る。
0:24:08	本数でやらないと、その受験炉心がこの代表理事と違うじゃないかというちょっと心配もありますので、やはりそこは、現実的な
0:24:18	方でやった方がいいのではないかと思うんですが、現実の人をここだとしていわゆる仮想炉心じゃなくて、はい。逆にこの間 140 分入れる炉心関してもあまりない。はい。70 分しか見れないんですよね。ボックス、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:35	製作したのが70本なので、月70本のコンクリート70本ですんで、最大合わせて140本ありますね。そこ。
0:24:46	もちろん今ミックスしてすでに入れておまして、核的制限値を満足できるだろうという評価はえております。
0:24:56	心配ですよ。燃料棒は400本で、とりあえず計算していきましようってのはとりあえずあるものを、を中心に本数考えましようということなので一貫性があった方がいいんじゃないかと思います。
0:25:07	ケア原子力以外ですね、900本が許可上最大限で一応そこまで書きますけど、我々400本フォーカスしてやりますので、
0:25:17	現実的に含めるのはここまでですというのはですね、シブヤもしかり契約方法が規制庁カネコですけど、憲法の話をしようとした時も400本でやろうとしてることと同じですからね。うん。
0:25:29	なので400本の考え方を整理してしまえば、うん。あとはどこにも読めるんじゃないかと思います。まだ400ぐらい現実的な炉心で定める方針で考えてます。
0:25:41	わかりました。そうですね。
0:25:49	下水道のソノです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:51	うん。一つは、これはもう、
0:25:56	規制庁殿にですね、お話するところではないかもしれないんですけども、やはり私たち、制作する。
0:26:06	コンクリートの方ですね、こちら製作するときにやはり、土居の施策で きる範囲ですね、実際、これから材料検査をするようなところもありますので、
0:26:21	解析上は、標準的なコンクリート組成ということでお示しました。
0:26:30	そこが
0:26:33	えーとですね、現時点でまだ作る前ですので、詳しい値がわかりません。ところが実際作る時には、ちゃんと成分検査しますので、どれぐらいの成分がわかります。
0:26:46	実際、炉心を組むときには、その実測したもので、精度よく理解とれる かと思うんですけども、
0:26:56	現時点ではまだ標準組成での参考値といいますかもちろん、全然でたら めな値ではないにしても、ちょっと幅がありますので、
0:27:07	考え方が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:12	代表理事の考え方は、お示しするとして、やはり受験、炉心検査班になりますけれども、受験方針については、多少そういった調整が必要だと。
0:27:23	そういったことを添えて、設工認段階では説明するように、
0:27:28	させていただきたいと思います。はい。それはどうぞ。
0:27:32	今から見づらいんですけど、お聞きされていることは理解しております。
0:27:41	首藤白井ですけども、どういう不確かさがあるのかっていうことと、あと裕度をとったのであれば、どれぐらいの裕度を、どういう理由でそこに入れたのかっていうのをちゃんと書いとけば、多分その問題はクリアできるんじゃないかなと。
0:27:56	製作公差ですか。はい。宮崎コンソール。はい、おっしゃる通りです。 はい。わかりました
0:28:03	志田さんの皆様にお話することじゃなかったということは承知しましたが、今の点はね。
0:28:22	それじゃあ検査、炉心卸っていう、今議論してる。
0:28:32	そうすると本来おる人については、当然、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:37	誤差がある前提で前提なんだけど、
0:28:42	じゃあその動作をね、どういうふうに、
0:28:45	評価の中に入れていったって、重要なんですよ。
0:28:52	コンクリートの組成で9%が標準でやってると。
0:28:57	いうのは承知してるけど、ただ、一応今までの説明んでは、2%が
0:29:06	サブシステムを守る、守れる、そういう説明をされてるわけでね。
0:29:13	そうですかもしれないという言い方じゃなくて、やっぱりそういう想定 のね、確率によって、
0:29:23	評価結果当然勉強するんです。
0:29:26	そういう、基準値を守る、そういう、新開の誓いそういう形を考慮した 上で選んで、実際にね、
0:29:42	いやそれ見たんですね、500本、400本、395本で臨界になったとか、 そういうのがある意味、
0:29:53	制度の評価の制度の中で吸収できる話っていうふうに、
0:29:59	の説明で久慈の外れた、いいんですよ。それが1本をね、こんなもの 変わらない限界水位がね、1回水金制度。
0:30:14	言うと思ってないし、逆にそういうことが全然、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:30:19	にはなっていない、そうじゃなくて、ただし、
0:30:22	いや、ちょっと、
0:30:25	変わります。その変わり方がどの程度かっていう、そういうことについてのやっぱり評価っていうのは、
0:30:38	もらった上で、対応方針を
0:30:43	心配されたんだけど、
0:30:48	そういうことでしょ。だからそういうことは、当然その精度評価をして、
0:30:56	要するに検査がちゃんとできる。
0:30:59	どういう誘導を持たせたものを選んで、
0:31:04	そういう形で、
0:31:08	最終的に選定された後、
0:31:15	久米さん。
0:31:17	これお願いします。
0:31:19	それに対する各成分、
0:31:22	評価は当然ます。
0:31:23	計算コードの誤差もあるので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:27	持ち合わせないけども、
0:31:31	検査ができなくなるのかね。
0:31:33	そういうことのリスクあるっていうだけ先に。
0:31:42	けどもさっき 140 センチの水をついて、なるべくモニターいっぱい入れたって話しましたけどもそうすると、反応度マイナスの場合はかかったときに、ちょっとお見せしたいなっていうのを出せないの例えばそしたら、
0:31:55	例えば 135 センチにするとか 130 センチとかもそういう必要性があるなどちゃんと説明できれば、ちゃんと書いてくださればそれは問題ありませんので、
0:32:06	はいそういうそういう話の流れをちゃんとつけていただければいいかと思えます。
0:32:12	金城教諭。はい。計算上はあくまで極限というか見通しを示す、お示しするためのものと、そこからある程度の裕度を見て代表炉心個々の検査どう進行にしますというのはちょっと分けさせていただきまして、そのときにはなぜこういう配慮をしたのかというのも見させていただきま
	す。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:31	はい。原子炉機構の宗です。今回ご提示いただいた二つの代表炉心のケースですね、40、
0:32:42	設置の方で理解するのがいいかなと、今考えております。その理由は、やはり40センチの段階でもですね、
0:32:53	入れられるところまでは入れようと。鉄、
0:32:57	木であれば、70本1K層で、そこに国立を出していけば、
0:33:07	いいかなと思ってますんで、それはですね、
0:33:11	やはり40センチだと、
0:33:15	臨界調整がしやすいというか、それだけ上乗せして、臨界調整できる後もあるかと思うので、
0:33:24	140だと、もうそれ以上入れられないとか、そういったこともありますので、
0:33:32	多分40センチ総括委員会やるというところはちょっとやっぱり、そこはそこにならない。リンク
0:33:39	40センチを下回る場合もあるか。そうか同じですね。わかりますでしょうか。はい。両極端をお示しした後で、実際に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:49	運転する炉心はやっぱり今ご提案してるのは 110 センチとか 90 センチとかですね。
0:33:55	そのあたり、なぜならそれはやっぱり安全上考えたらいきなり両極端で初臨界にするっていうのはちょっとそういうの、そこはもう、なぜいきなり龍徳さんやらない方がいいのかというのは、ご説明させていただいて、
0:34:09	9 しかないかなと思います。
0:34:13	一番じゃ 40 万。
0:34:21	今の、その辺の解析の範囲の段階ではね。
0:34:26	そのある範囲があるわけじゃない。ちょっといいですか。
0:34:33	これは何かする必要があって、440 円。
0:34:44	そういうのの方が、あんまりその傾向をね、
0:34:54	ボックスでやってる、示したものを全部示しではないですね、ちょっと厳しい。
0:35:01	縛られてる段階で、
0:35:07	そういったところの動線が保護者もある。
0:35:17	なんかそれは当然それプラスマイナスなんだとかいう話だから、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:27	実際、
0:35:31	どうだということあまり心配する必要はない。
0:35:36	そうです。はい、わかりました。両極端を示した上で、そういった評価の誤差を、を考慮して、それで、このくらいで、今、受験するっていうのはまた
0:35:52	そういう説明ということで、代表ロシアでよろしいということですね。承知しました。はい。
0:35:57	なので、お話できたのかなと思って、ライブは先ほど言いましたけど、
0:36:10	うんうんうん。し推進の基本方針の3、3です。
0:36:23	センサー介護用の説明書類。
0:36:30	子供園。
0:36:32	公認の申請書を見る。
0:36:35	これ、ちなみに対応の、
0:36:39	解析以外版とか、そういうのは今回こういう
0:36:49	採用新法、当然、
0:36:55	そういう個人に対して、
0:37:02	この評価に対応させる形。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:11	今おっしゃられたのは今私どもの方で、今、議論している代表の神とい いますか、そう選んだ炉心に対して、やっぱり基本炉心でやってる津波 対応臨界盤入れてどうこうというのはやっぱり、
0:37:27	やっておかないとちょっとストーリーで頭そうねという、
0:37:33	ガイドラインの炉心とね、そういう津波対応、これはJAEAが自主的 に設けたから、全体対応は別に必要になるけど、はい。そこは全然別の 方針でね。
0:37:49	やっぱりそこはさせて、それで、
0:37:56	そういう、
0:37:59	形にしてもらった方がいい。
0:38:03	現状機構の宗です。おっしゃる通りで、これはですね、私たちがそうい う炉心をいずれ組むことになります。受験しますので、それがちゃんと
0:38:14	津波対策として、未臨界であることを証明しないと、これ、炉心が組め ないことになりますので、この代表炉心についても、ちゃんとそれが 成立するということを示してない。
0:38:30	はい。
0:38:36	よろしく願い。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:39	原子力もそうです。承知しました。原子炉物理的なことを申し上げますと、はい。
0:38:45	代表炉心として、その成立する臨界なることはわかりましたと。ところが、津波水没を仮定すると、実はこれ未臨界にならないってことが出たら、これ保安規定に基づいて組めませんので、そういう場合にはちゃんとそれが組めないということを示してこんソノ組める範囲で、
0:39:02	こういうふうにしますというふうにちゃんと理由がわかるように説明いたします。ありがとうございます。
0:39:13	津波評価も代表の人でやってくれっていうですね、その津波評価で含めないやつは保安規定で調べたら、ちょっと何もしませんって説明じゃないですよ。はい。はい。
0:39:25	関川さん。はい、おっしゃる通りです。はい。そうすると、大体、何かありますか。
0:39:35	構成範囲を明確にしてもらいたいって話は今仮称ですけど。
0:39:39	そうですね、じゃあ、方向性は。うん。制度の資料ですけども。
0:39:47	プロジェクトで言うと、
0:39:50	もう一度設計しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:56	これはやっぱり実験用装荷物のところが、デブリ法上、
0:40:02	大も自体とだけ書いてあって、
0:40:08	の理由の1-4。
0:40:15	で他のページで言うると作る本数とかわかるんですけども、やっぱり同時に何が何本入るのか、うん燃料使用するかとか25分とか70分とか使うそういうのも同時に全部入るのかとか、それは1本ずつしか入らないのかとかやっぱりその辺がやっぱり全然わからないので、
0:40:34	まあ、とりあえずなんすかね。
0:40:36	デブリ模擬炉心としては外枠ですかね、パラメーターとして何があって、じゃあホースでとこれは両方から何本と同時に、
0:40:46	手当の方から140分になるのか、ちょっとその辺をちょっと加えていただきたいんですね。はいもちろん、その古野工程の中には、だから、核的制限値を満たさないものが、
0:41:00	こういうところを選んでALPSはもうわかりましたので、すごいシェアもちろんもう本当何か、とにかく言いませんのでまず何が何ぼ最大入る可能性があるのかっていう構成をここに入れていただければ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:41:12	各種解析をしてもらって、例えば、農業し、茂木田井が40本前提で評価されていると。うん。本当140、40本で何でやってんのって説明が、
0:41:25	またさらに必要なんで、
0:41:28	一体何を何本まで、どういうふうにやろうとしてるのか、そうは思ってるんですよねって、今言ったような120キロシートが出てくるんですけどその額、
0:41:39	ロジックの中にですね、それが書かれていれば
0:41:44	いいですか。はい。はい。
0:41:50	原則そうではい。炉心の組み合わせが取り得る範囲、これをきちんと示した上で説明するその中で、もちろん超える場合もありますので、そういうことも含めて解析したということでそこをつなげていくと。はい、承知しました。
0:42:13	他ありますか。
0:42:15	ここはバツは、前回の審査会合大丈夫。
0:42:28	適正エンジン、全然別表としてですね。
0:42:37	そういう全員反応度件数とかあるわけですね。
0:42:42	本郷。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:48	反応度添加率を守ればいいということでの対応によって、
0:42:56	今の s t a g eの方と、ポンプの性能によらず、
0:43:03	6000 と網。
0:43:05	覚える。
0:43:06	方針が踏まない、そういう理解でよろしいですね。核的制限値として おりますのは%。
0:43:20	いやそう。それは、
0:43:23	それはもうないけど、
0:43:25	それを守れば、ずっとね、制限してもいいんだけど、精神、
0:43:36	その前段階ですね、60%、6.6%と。
0:43:44	炊飯という方針は変わらない、そういうより厳しい。
0:43:52	はい。だから、
0:43:58	提言しちゃってるので、
0:44:01	そういう。
0:44:07	前回の審査会合解析の確認として、
0:44:12	不二製油、
0:44:15	プラスになったんだけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:17	封筒は一部ね。
0:44:19	うん
0:44:21	6005%びっくりマークがあって、
0:44:30	それはそういう、その辺のことは悪いんだよね。だけど、
0:44:43	この委員会のもうちょっと、そうですね、実験の条件は同じでして、
0:44:54	燃料体制減らせば水は終わるわけね。そうずっと、独占、うん。
0:45:01	ある種、それはその炉心についてはそういう条件の炉心については、制限をしますっていう。
0:45:09	そういうことになる。
0:45:11	要するに 40 センチの 6mm という方針はね、もうとにかくやりませんか。であれば特にあそこの四、五、
0:45:21	6 円はやっぱり実験上、
0:45:26	やっぱり、そうは言ったって、上から、
0:45:34	ほう素やらして追加して入れて実験したいっていうのはまあ、実験者としては当然そうすると、
0:45:41	そういうことについてそういう炉心条件に対しては、水を、例えば 50 センチ以上で作りますとかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:50	今の良い形の実験の件。
0:46:00	してるわけですね。だけど今のスケジュールの場合は許可段階でそれを出してない。
0:46:11	そうそう。今今、
0:46:17	推薦をつけた上でやりますと。
0:46:21	ということになるとそういうものは、今の保安規定で、
0:46:29	運営されてますかっていう。
0:46:31	質問。はい。
0:46:34	はい。6分とファミリーを超えて超えるような話はないって書いてますから、経営状況もそうですが、
0:46:47	審査会合とかでお示した水反応度の、式曲線で確かに6000tを超えるところが出て参りますけれども、ただそういった場合には、水を5センチでも上げれば、もう6000棟は下のある
0:47:03	ということなんで、もうそれは6000とか超えたら食わないっていうのは、水を上げるっていうだけですから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:10	ここにそういうことをするから、はい。ホームページの水制限を外すという。水制限を付加すると。うん。というようなことまで書かなくてもいいという、
0:47:25	6000 とうこういった時は水位を下げるっていうそういう、もう、炉心構成の決まりでやりますので、そこを上げれば、三条で反比例しますので、もう、すぐ 6000 円と下がりますので、
0:47:42	それはまだ
0:47:46	燃料棒が何本以上の時は、臨界水を 50 センチ以上にするとかしなくても、もうそれは 6000 とかを超えないように、炉心水位を上げるっていう、それで事足りると思います。
0:48:06	小構成に関するお話。
0:48:09	一段落したところだけ。
0:48:12	そう。渋谷元助教のソノですが、
0:48:16	石村さんの方から、炉心構成範囲の取り得る範囲をきちんと明確にした上で、その上で解析からどれを選んだかどこまで社会っていうのを説明、理由をつけて説明すればわかりやすいというお話で取り得る範囲をちゃんと

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:33	設工認の表に明記することということでした。
0:48:46	あと、審査でいうと、
0:48:50	第第 10、技術基準の第 10 条について審査をしてるので、
0:48:56	結論としては、ちゃんとこれこれこういう理由で、このレベルをベース に、例えば、技術基準の第 10 条をいたしますっていう、何か、
0:49:09	それが何か良いと。
0:49:12	提示されてない。
0:49:15	なるほど。あくまで技術基準の第 10 条に関する審査を今我々はやって います。
0:49:21	で、その中重要って募集の制度特性ですけども、
0:49:26	それを満たすためには、許可の時に約束した核的制限値を守ることです と。
0:49:36	委員会実験装置ですので、核的制限値を満足しない炉心も組み得るんで すけども、それは保安規定で、そういうものは構成しないと、それこそ 熊田からもう大前提ですので、
0:49:52	次に、じゃあ実際組める炉心で、どうやってその安全性を確保してるか っていうと、ハードで言うと、安全盤と、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:02	ポンプ、ポンプの性能と、増井津久井、増井はね、あと、書いてあったので、
0:50:12	安全盤はその提出商品について、確認することでまず性能が示されると。
0:50:19	で、
0:50:21	難しいのは、市販のケースにあったらもうすいませんがの低下率に関しては、ソノポンプの機能の、もう既存とったんですが、ポンプと、水反応度係数ですね厚い反応度係数は、当然保守によって変わるけども、
0:50:35	その組み合わせで担保されて、
0:50:40	最大過剰反応等については、そのスイスイ反応度形成と、スイッチまでの水、水の席で担保されると。
0:50:51	そこまでが、
0:50:54	何かシステムとして安全性を担保している要件があつてで、
0:51:00	その次に具体的にじゃあどうい、どうい教えを持って具体的に、
0:51:05	間瀬副反応ですとか、中性子商売ケースがちゃんとできてるかっていうのは今、例えば 140 センチのポイントは 140 センチの、
0:51:15	具体的な塀、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:18	炉心では瀬田がちゃんと各適正準備ということを示していただいて、負担してそれは一番本当に危ない炉心ではないんだけど、
0:51:30	それは※何回か議論されてますけども、臨界装置の特性を考え、考え、考えて、一番、
0:51:40	大きなところではないけども、この全体を構成するからこういう理由で、定例的な炉心を、
0:51:49	抜き出してメンバー解析しましたと。うん。
0:51:52	それ、それによって、戻って技術基準の第十条の安全性は、これ、示されましたというのが多分、何か基本的なセットの話だと思うんですね。それが、
0:52:06	聞こえてくるのがすごい大事なんですね。はい。それはもう承知いたしました。今第10条に対して適合できるということが明らかにわかるように操作をしているので、その次の技術的な細かいところに、
0:52:21	の話ですけども本線IIまでそこそこですので、
0:52:28	はい。はい。そうしましたら、渋谷さんの、その整理の通りですね、ハードで制限しているところ、それから手順によって整理しているところ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:52:40	それが相まって、ちゃんと安全に運転できるというのが十条のことですので、
0:52:48	それらがわかるようにですね、記載いたします。現行の適合性のところでも、そういったことを書いているんですけども、さらにそこを丁寧に説明するようにいたします。
0:53:04	じゃ、
0:53:05	並行して解析をいろいろ進めていただいていると思うんですけど、大分当初のね、JAEAの考え方と多分変わると思いますので、
0:53:17	もう一度考え方整理していただいて、こういう快適を、こういう考え方、
0:53:22	やりますっていうのを、案を示していただいて、ほかにすり合わせをした方が、でもいかなのかなと思いますよね。
0:53:33	はい。減少機構のソノです。はい。今日お出ししたのはそういう意味でまだすり合わせ前というか私どもの考えを示しただけですので、ご意向が理解できましたので、もう1回、
0:53:48	この編集方針をちょっと出し直していただきます。すいません。た。
0:53:54	早い方がいいかとちょっと思っております、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:58	いける一種、一種、1週間ぐらい、いや、
0:54:03	こちらの電力の作業のタイミングでですね。はい。そのために私たちも、遅くとも3日前ですので今週と同じパターンになりますけれども、火曜日の、すいません前回もちょっと遅くなりましたが、火曜日の夕方、とか、
0:54:19	夜ぐらいまでにはきちんとお出しして、また来週、もちろん日程調整を していただければと思いますが、それで面談していただければ幸いです。
0:54:30	細かい部分はね、あれと思っても
0:54:37	まず最初のベースの考え方を整理するということですから、そこはあんまり細かいところは突っ込みませんので、大きい考え方をまず整理しちゃって、そこから精度を上げていくっていう、
0:54:48	結果的に、時間的に短く、
0:54:52	そもそもですはい。
0:54:55	ご配慮ありがとうございます。はい。
0:55:02	馬場さんいかがでしょうか。
0:55:05	ウェブで参加の方向か。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:07	コメント等ございますでしょうか。
0:55:11	人間性CCからは特にありません。
0:55:18	はい。では、これはございません。
0:55:20	はい、ありがとうございます。吉浦です。ではこれで本日のヒアリングを終了させていただきます。お疲れ様でした。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。